

【令和7年度全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立葛川小学校

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

国語科では、全体的に県や全国の平均を若干下回る結果となっています。登場人物が発言した目的や理由を選択する、登場人物が言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する問題については全員が正解することができていました。算数科では、角の大きさについての理解がしっかりとできていました。理科では、県や全国平均を上回る結果となりました。特に「地球」を柱とする領域について大変よく理解することができていました。

児童質問紙からは、生活習慣が整い、規則正しく生活できていることが分かります。学校に行くことを楽しく感じており、今の友達関係に満足していることも分かります。しかし、自分と違う意見について考えることを楽しいと感じていない傾向にありました。また1日あたりの学習時間や読書時間が県や全国と比較して少ない傾向でした。

《強み・弱み》

① 各教科

国語科では、情報の扱い方に関する事項、話すこと・聞くことにおいて平均点を上回っている反面、記述式の問題において課題が見られます。算数科では、図形に関する問題が平均並みではありましたが、他の領域において力不足を感じます。考え方を説明する記述式の問題においてはそれが顕著と言えます。理科では、全体的に県や全国平均を上回る結果で、これまでに学習した内容がしっかりと身についていることがうかがえます。

② 質問紙

起床時間や食事時間等、生活習慣が安定しています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」等の規範意識も確立しています。「人の役に立ちたい」という思いを持ち、「今の友達関係に満足している」と答えています。KCLプロジェクトや紅葉祭などでの活動に協力して取り組んでいる結果であると考えます。半面「課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいる」の項目が低い傾向にあります。

【指導の充実に向けて】

- ① 授業改善と指導力向上を目指し、ICTを活用しながら、ユニバーサルデザインを意識した規律ある授業を推進します。
- ② 基礎学力の定着に向け、授業での「めあて」の提示、「振り返り」の実施を徹底します。
- ③ 少人数指導を活かした基礎・基本を徹底する授業や繰り返し学習を充実させます。
(授業での記述練習や課題の解決方法を考える機会を増やす 等)
- ④ 「ふるさと未来科(KCLプロジェクト)」での体験学習において、将来の生き方について考える機会を持ち、コミュニケーション能力を育て、たくましく生きる力を育てます。
- ⑤ 中学校との連携を充実させ、「ふるさと未来科」を柱とした9年間の系統立った学びの場を確保していきます。